
食肉科研/行政情報等発信サービス

No.244 2020/9/15

1 「食品安全総合情報システム」公表

9月11日、食品安全委員会が公表した標記システムに次の記事が掲載されている。

https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?keyword=%EF%BC%AC%EF%BC%A4%EF%BC%95%EF%BC%90&query=&logic=and&calendar=japanese&year=&from=struct&from_year=2020&from_month=08&from_day=15&to=struct&to_year=2020&to_month=08&to_day=28&areaId=00&countryId=000&informationSourceId=0000&max=100&sort_order=date.desc

米国疾病管理予防センター(CDC)は8月、桃に関連した複数州にわたるサルモネラ属菌集団感染に関する情報(初報8月19日、続報8月21日、24日及び27日)を公表した。概要は以下のとおり。

1. CDC、複数州の公衆衛生及び規制当局、カナダ並びに米国食品医薬品庁(FDA)は、桃に関連した複数州にわたるSalmonella Enteritidisの集団感染に関して調査を行っている。
2. 2020年8月27日時点で、S. Enteritidis集団感染株の感染者が78人、12州(ミネソタ州、ミシガン州、ニューヨーク州、アイオワ州他)から報告されている。
3. 発症日は2020年6月29日から8月3日まで、患者の年齢は1歳から92歳、年齢中央値は44歳である。患者の64%が女性である。情報の得られた67人のうち、23人の入院が報告されている。死亡者の報告はない。
4. 患者から分離された32菌株の全ゲノムシーケンス解析(WGS)では、どの薬剤耐性も予測されなかった。CDCの全米薬剤耐性監視システム(NARMS)検査機関による標準薬剤感受性試験法を用いた臨床分離株の試験が実施中である。
5. 疫学的なエビデンスによって、桃が当該集団感染の原因である可能性が高いことが示されている。Prima Wawona社(Wawona Packing Company LLC)によって包装あるいは供給された、汚染した桃を販売した可能性のある他の小売業者を特定するために当該調査は進行中である。
6. WGSによって、カナダでのS. Enteritidis集団感染は米国の当該集団感染と(その原因株が)遺伝的に関連していることが示されている。8月23日、カナダ当局は自国の同菌による集団感染について米国から輸入された桃に関連付けた。
7. Prima Wawona社あるいはWawona Packing Company LLCによって包装・供給され、リコール対象となっているばら売り又は袋入りの桃、あるいはこれらの桃を使って作られたリコール対象の食品(「ピーチサルサ」等)を、喫食、提供、販売しないこと。

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/show/sy05440230104>